

○平成30年度事業報告書及び事業実績

1 概要

平成30年度の日本経済は、10月から12月時点で前期比0.1%と鈍化したものの8四半期連続でのプラス成長となり、引き続き、緩やかながら成長と目される状況にあります。また、失業率も12月期の2.7%に示されるように、低水準で移行している状況にあり、有効求人倍率は、1.6倍前後で推移し、高水準を維持しているところです。

こうした日本経済状況下で、平成30年度におけるシルバー人材センター事業をとりまく状況は、地域の少子高齢化という現象から「人手不足」による要望が多くありますが、他方で、会員不足の現状は否めず、地域要望にしっかりと応える体制を作り上げることが出来ない結果を残しています。

このことについて、私たちのふるさと土佐市では、本年2月末現在人口は27,089人、男性13,180人、女性13,909人となっており、うち高齢化の基準となる60歳以上の方は、男性5,074人、女性6,554人の合計11,628人、高齢化率は42.9%という状況に至っています。この高齢者数による当センター会員数は213人で、粗入会率はわずか1.83%という状況にも表れています。

こうした状況の中で、私たちは公益目的事業であるシルバー人材センター事業を中心に取り組んできました。会員数は前年度に引き続き200人台を維持することが出来ましたが、地域要望の高い「人手不足」を補う体制が不足していたという課題も発生しています。このことは会員の就業率が累計で65.8%という結果に顕著に表れています。

センターでは、高知労働局から公益社団法人高知県シルバー人材センター連合会(以下「県連合会」と表示します。)が受託する「高齢者スキルアップ就職促進事業」や「高齢者活躍人材育成事業」を導入して、刈り払い機、チェーンソー取扱講習会を行って、こうした要望に応えうる体制を整えてきたが、経験や熟練度の点で、次年度以降に課題を残しています。一方、平成27年度から取り組んできた「シルバー派遣事業」について、市内民間事業所への積極的なアプローチを行うと共に、受託事業の見直しを行い、県連合会の指導や、近隣センターと協同して派遣事業への移行を推進した結果、農作業部門で派遣契約を前進させるなど、さらなる適正就業化において成果も生まれています。

このような状況の中、会員総数213人(年度末現在)で、平成30年度事業実績は、受託事業部門で、延べ就業9,378人(前年度比100.7%)、契約金額56,301,811円(前年度比101.2%)、派遣事業部門で、契約件数32件(前年度比200%)、延べ就業人日は2,307人日(前年度比127.1%)、契約金額は14,378,168円(前年度比149.1%)、全体事業費実績は、前年度比108.2%、5,376,962円増の70,679,979円を得て、センター初の7千万円台の実績を得ることが出来ました。

また、安全適正就業体制確立への課題については、高知労働局の指導も受けて、従前の安全パトロール体制を、「役員が先頭に立った体制の構築」を基本に、理事

会主体、例月実施、特に7月以降の重点配置などを念頭に取り組んできた結果、後段に示すように、事故件数はわずかに1件という状況です。しかしながら、センター目標は「事故ゼロ」であることから、次年度以降も引き続き、役員を中心に「事前点検による安全な作業で、安心な事業所づくり」をめざして取り組んでまいります。

こうした取り組みの実績と事業実績、かかる課題から、私たちセンターに集う会員のみなさんと事務局が総員工夫のもとに、今一度、原点に立ち返って、地域に必要とされる組織と人づくりを行って、関係する行政機関、企業等との連携を図り、本年度方針に掲げたとおり、「就業先とセンター（会員・事務局）が家族」とし、家族が家族を助ける「土佐市シルバー家」の目標へ向かって、シルバー事業の発展に一丸となって取り組んでいくこととします。

2. 取り組みの内容

4/1 平成30年度事業開始

4/2 事務局員辞令交付式（事務局長、事業推進員を再任）

4/20 平成29年度収支決算に係る決算監査の実施

4/23 平成30年度理事会（第1回）の開催

区分	番号	案 件 名	表決の状況	
			賛成	反対
報告	第1号	職務執行状況の報告について	8	0
議案	第1号	平成29年度事業実績の承認について	8	0
	第2号	平成29年度収支決算及び決算監査の承認について	8	0
	第3号	平成30年度公益社団法人土佐市シルバー人材センター総会の提出議案及び報告議案について ① 議案第1号 平成29年度 事業実績の承認について ② 議案第2号 平成29年度収支決算及び監査報告の承認について ③ 議案第3号 定款の変更について ④ 議案第4号 役員の選任について ⑤ 報告第1号 平成30年度事業計画(案) ⑥ 報告第2号 平成30年度収支予算(案) ⑦ 報告第3号 平成29年度中に行った収支補正予算	8	0

- 5/1 30年度第1回安全就業パトロール実施
 5/14 平成30年度総会招集通知
 5/18 波介川除草作業受託にかかる関係機関への第1回交渉実施
 5/21 波介川除草作業受託にかかる関係機関への第2回交渉実施
 5/26 平成30年度定時総会(グランディール)
 ①出席した正会員数 58名
 ②有効委任状(議決権行使書)提出会員数 107名
 ③合計有効数 165名
 ④有効数の割合 81.68%
 ⑤表決結果

議案	案件名	承認数			非承認数	結果
		出席者	議決権	計		
第1号	平成29年度事業報告の承認について	57	107	164	1	原案どおり承認
第2号	平成29年度収支決算及び監査報告の承認について	57	107	164	1	原案どおり承認
第3号	定款の変更について	57	107	164	1	原案どおり承認
第4号	役員の改選について 理事候補 有藤芳生	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 井伏 昭二	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 高木 守	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 田代 正徳	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 福井 淳夫	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 森田 和夫	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 山中 一義	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 徳弘 隆	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 西村 浩二	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 津野 洋精	57	107	164	1	理事として承認
	同上 理事候補 三宮 徹	57	107	164	1	理事として承認
	同上 監事候補	57	107	164	1	監事とし

	宝蔵昭次郎					て承認
	同上 監事候補 浜田 和香	57	107	164	1	監事として承認

5/26 平成 30 年度理事会（第 2 回）の開催

区 分	案 件 名	表決の状況	
		賛成	反対
議案第 1 号	代表理事等の互選について 代表理事(理事長) 高木 守 副理事長 田代正徳 副理事長 井伏昭二 常務理事(兼 事務局長)三宮 徹	10	0

5/30 高知県公益認定審査会による立入検査結果受理

- ① 去る平成 29 年 12 月 19 日に実施された高知県公益認定審査会による立入検査結果については、本年 5 月 30 日付け高公審第 634 号により、以下のように示された。

【検査結果】指摘事項のみ表示

ガバナンスや会計処理等、おおむね法令等に適合しているが、次の事務処理上の改善すべき事項があった。

- (1) 定款第 24 条第 4 項に、理事長は職務の執行の状況を理事会に報告しなければならないと規定されているが、事務職員が報告していた。理事長が報告すること。（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）
 - (2) 役員の履歴書を備え置くこと。
 - (3) 総会後の懇親会(アルコール類+弁当)費用を法人会計から支出しているが、アルコールを含む飲食を伴う費用を法人が負担することは、税制優遇を受ける公益社団法人としてふさわしくないため、費用を法人が負担することがないようにすること。
- ② 以上の結果通知に基づき、以下のとおり改善報告を行った。

【改善措置】

1. 指摘事項 1 について

平成 30 年 1 月 19 日開催の「平成 30 年度第 5 回理事会」より、定款第 24 条第 4 項の規定のとおり、理事長より報告することに改善しました。以降、この事例により執行しています。

2. 指摘事項 2 について

平成 30 年 5 月 26 日開催の「平成 30 年度定時総会」により選任された理事並びに監事から本人自署による就任承諾書及び履歴書の提出を実施しています。

3. 指摘事項 3 について

ご指摘事項の総会後の懇親会の酒類の法人負担ですが、前記の「平成 30 年度定時総会」より当該費用については本人負担とする

ことと改善しています。

- 6/1 土佐市長との H30 公共事業に関する協議実施
6/8 高知県連合会平成 30 年度第 1 回事務局長会議（高知市）
三宮事務局長、田添業務主任参加
6/13 平成30年度高知県シルバー人材センター連合会定時総会
（設立20周年記念式典参加を含む）
高木理事長、田代・井伏副理事長、三宮事務局長、田添業務主任参加
7/1 平成 30 年度職員夏期休暇実施 ～9/30
7/10～13 高齢者スキルアップ就職促進事業による講習会開催
7/31 安全パトロール実施

実施者	津野・徳弘、西村理事
担当者	業務主任 田添隆秀・事業推進員 関 雅仁
実施地	波介川沿線
業種等	除草危険箇所等の事前調査
特記等	熱中症対策、班体制の見直し等

- 8/3 派遣就業先滞納処理協議実施
8/17 安全パトロール実施

実施者	田代・井伏副理事長、福井理事
担当者	業務主任 田添隆秀・事業推進員 関 雅仁
実施地	高岡地区、北原地区
業種等	除草、剪定、清掃作業
特記等	特になし

- 8/20 市議会関係議員あて波介川除草作業支援要請
8/21 土佐市土木協会加盟会員 波介川除草作業受注に関する支援要請
8/23 土佐市北原クリーンセンター 波介川除草作業受注に関する請願
8/31 安全パトロール実施

実施者	有藤、森田・山中理事
担当者	業務主任 田添隆秀
実施地	高岡地区
業種等	除草作業
特記等	特になし

- 8/24 事故処理
9/10 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会による集合指導参加

【特記事項】

■適正就業ガイドラインの周知等の実施状況等について

- 報告した 8 センターの取り組み状況では、黒潮町センターから「受注する段階で請負・受託と派遣の見極めをしっかりと行っており、不適正に該当するものは皆無。」との報告があった他は、何らかの不適正とされる・みられる就業を行っているものと判断された。

- 報告を受けた福島業務部長は、この課題は相当以前からの課題で、是正すべき案件は自らで点検・是正するとしてきた経過にあっている。本件は、国会でも付帯決議された経緯があり、きわめて重いものであると受け止めるべきだ。しかし、27年度の是正率は1.63%、28年度は2.75%という値で、全シ協担当部長として、とても国に報告できる数値ではない。自身の団体は本当に完璧な団体なのか、自問すべきである。
- 今回示されたガイドラインの周知は、是正報告が義務付けられたものと理解しなければならないものだ。関係者の総意・総力をもって是正していく心構えが必要だと考える。請負が満たすべき要件、派遣が満たすべき要件をきちんと整理したのがガイドラインであると理解すべきで、過去からの恩義のある長期契約者、新規契約者の如何にかかわらず、すべての発注者に対し厳正に適用していくことに期待する。

- 9/25 安全適正就業勉強会の開催
- 9/26 高知県連合会県下事務局長会議(第2回)の当センター開催
同懇親会の開催(土佐市長参加)
- 9/27 同上研修会の開催(センターでの波介川除草作業の説明と現地見学の
実施)
- 10/10 土佐市おもてなし一斉清掃参加
宇佐町「しおかぜ公園」で実施
- 10/9~10/19 農作業派遣就業に関する地元農家への個別説明及び協議

■総括事項

1. 農家の反応について、いずれも「なぜ今こうした話しになるのか。」という疑問の声が多く聞かれた。農家はシルバーセンターから「人の派遣を受けている。」という認識であって、「請負」で就業しているという認識にないことが要因である。
 2. その「請負」とした過去の行為について、適切な契約時説明が行われていないことも大きな要因で、事業拡大に終始するあまり、適切な契約行為が行われていなかったものと思われる。
 3. しかし、シルバー制度は刻々と変化し、会員の就業形態は受注段階で適切に判断され、その結果に基づいた契約方法と客先への説明は十分に果たしていく必要がある。
 4. 今回の地元協議により、農作業のうち指揮命令が見込まれ、かつ発注者及びその他の作業員との混在就業などが見込まれる「収穫作業」について
 - ① 本年から派遣契約締結による就業とする。
 - ② 制度は理解できたが、ただちに派遣契約を整えることが出来ず、平成31年度から切り替えする。

という方法で、平成31年度には文旦、生姜等の収穫作業について、派遣契約に基づく就業形態に移行するとした。また、その他の農作業については、就業条件を精査する中で適正に判断する。
- ※ 当該地元協議の結果、本年から派遣就業に切り替えるとされた相手方の表示を省略する。

10/15 安全パトロール実施

実施者	西村理事、宝蔵、浜田監事
担当者	業務主任 田添隆秀・事業推進員 関 雅仁
実施地	波介川沿線
業種等	除草作業
特記等	特になし

- 10/22 県連合会事務局長来局 農作業派遣就業に関する他センターとの関連性等について事前協議
- 10/23 波介川除草作業中間検査実施
- 10/29 波介川下流部除草作業就業会員への事故抑制の指導実施
- 10/30 第4回理事会
- 11/8 第3回シルバー文化祭の開幕（～15日）
- 11/15 波介川除草作業完了検査実施
波介川下流部除草作業就業会員への指導実施（第2回目）
- 11/18 山の手地区ふれあいフェスタへの職員派遣
会員拡大・シルバー事業拡大PR

11/19 安全パトロール実施

実施者	井伏副理事長、福井理事
担当者	業務主任 田添隆秀
実施地	高岡地区
業種等	清掃作業
特記等	特になし

12/3 高齢者人材育成事業に基づく講習会の実施（～7日）

- ①12/3 刈り払い機講習
- ②12/4 エコ講習・閉講式
○参加者 18名
- ③12/5 チェーンソー講習
- ④12/6 同上
- ⑤12/7 エコ講習・閉講式
○参加者 11名

12/13 安全適正就業勉強会

- 参加者 43名

12/13 シルバー忘年会の実施

12/17 平成30年度職員福利厚生事業（特定健康診断）実施（～21日）

12/28 仕事納式（理事長）

1/4 始業式

1/15 安全パトロール実施

実施者	徳弘、森田、山中理事
担当者	業務主任 田添隆秀
実施地	高岡地区
業種等	清掃作業
特記等	特になし

1/24 県法務課主催の公益法人研修会への参加

【特記事項】

- 立入検査の指摘事項のうち、役員欠格事項の有無が確認できない監事が理事会に出席していないケースが見られる。公益法人としては不適切。また議事録について、出席者氏名、議事録作成者の記載、「満場一致」の記載を表決数できちんと記載を徹底すること。
- 理事必携文書を全員に配賦すること。

1/25 平成30年度理事会(第5回)

区分	案 件 名	表決の状況	
		賛成	反対
報告第1号	職務執行状況の報告について（理事長）	9	0
報告第2号	職務執行状況の報告について（常務理事）	9	0

議案第 1 号	公益社団法人土佐市シルバー人材センター職員就業規則の一部改正について	9	0
議案第 2 号	平成 30 年度収支補正予算（第三次）について	9	0

1/28 文旦選定講習会の実施

<p>○参加者 13 名</p> <p>○開催結果</p> <p>(1) 主な質疑</p> <p>ア. 文旦栽培の基本として、主枝は何本くらいが適当か。</p> <p>※ 3~4 本が適当である。</p> <p>イ. 剪定を必要とする枝と不要とする枝の区分は。</p> <p>※ 先端の葉が大葉か、小葉かで見極めていく。これは、剪定後の花芽がつくかどうかの見極めである。</p> <p>ウ. 陽当たりを良くするためにはどのようにすればよいか。</p> <p>※ 詰んでいる枝を切る。しかし、切りすぎると枝が日焼けを起こし樹勢が弱るため。</p> <p>※ 支柱によって枝を拡散し陽当りに配慮していくこと。さらに同じく支柱によって木を持ち上げる行為も必要。</p> <p>(2) 講師講評</p> <p>ア. 本日の講習会の総括として、シルバー農園の文旦は 6 年から 8 年の若木であることから、翌年以降の成長を考慮して剪定をせずに必要最小限の剪定作業にとどめ、陽当たりを考慮して支柱を使った作業を加えた。このことによって、次の花芽を確保できたものとした。また、主枝には極端に陽当たりを良くせず木の成長を保存した。</p> <p>イ. 土佐市の文旦栽培の現状は、後継者不足に加え指導者不足もあって栽培を維持できない農家も少なからず存在し、将来を危惧している。シルバーセンター会員は、このことに留意して少なくとも自分の技術力向上のために市内農家を数多く見学、研修し自己研鑽に努めて欲しい。重ねて、この行為によって土佐市の文旦栽培の維持発展に寄与してほしい。</p>

2/15 安全パトロール実施

実施者	有藤、津野、西村理事
担当者	業務主任 田添隆秀
実施地	鎌田井筋沿線
業種等	清掃等作業
特記等	特になし

3/19 平成 30 年度理事会(第 6 回)

区 分	案 件 名	表決の状況	
		賛成	反対
議案第 1 号	公益社団法人土佐市シルバー人材セン	9	0

	ター職員給与規則の一部改正について		
議案第2号	公益社団法人土佐市シルバー人材センターの期間を定めて雇用する職員給与規程の一部改正について	9	0
議案第3号	平成30年度収支補正予算（第四次）の専決処分の承認について	9	0
議案第4号	平成31年度定時総会の招集について	9	0
議案第5号	定款の変更について	9	0
議案第6号	平成31年度事業計画の承認について	9	0
議案第7号	平成31年度収支予算の承認について	9	0
議案第8号	事業推進員の雇用について	9	0

2/25 県連合会主催「高齢者活躍人材育成確保事業」検討会参加

- 本年度から新たに「確保」の字句が挿入されたことから、従前の育成事業のように、センター会員が参加出来ない制度となったこと。
- この事業は、地域の高年齢者の就職・就業を促進する一方で、シルバー人材センター会員への道を拓くことも目的であることから、当センターも県連合会に協力して積極的にとりくむことといたしたい。
- 当センターのとりくみは、基本的に
 - ア. 同事業のPR活動を行うとして、その活動に会員を就業させる形でとりくむ。
 - イ. 一般を対象とする講習会を開催し、会員拡大を並行して実施し、会員拡大7カ年計画の目標値達成に期する。

3/15 安全パトロール実施

実施者	田代・井伏副理事長、福井理事
担当者	業務主任 田添隆秀
実施地	高岡地区、用石地区
業種等	除草作業
特記等	特になし

3/19 平成30年度理事会（第6回）

番 号	案 件 名	表決の状況	
		賛成	反対
第1号	公益社団法人土佐市シルバー人材センター職員給与規則の一部改正について	9	0

第2号	公益社団法人土佐市シルバー人材センターの期間を定めて雇用する職員給与規程の一部改正について	9	0
第3号	平成30年度収支補正予算（第四次）の専決処分の承認について	9	0
第4号	平成31年度定時総会の招集について	9	0
第5号	定款の変更について	9	0
第6号	平成31年度事業計画の承認について	9	0
第7号	平成31年度収支予算の承認について	9	0
第8号	事業推進員の任用について	9	0

3/25 須崎労働基準局協議

○労働基準法にかかる36協定について

3/31 平成30年度事業閉鎖

3. 事業実績数値

① 公益社団法人土佐市シルバー人材センターの業績推移

■表-1 会員数、受注件数、契約金額等の状況

年度	会員数 (人)	受注延件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人)	契約金額 (円)	前年比 (%)	就業率 (%)
10	61	78	-	-	5,866,717	-	-
11	107	247	85	2,445	11,547,255	196.8	79.4
12	115	277	85	3,173	14,363,715	124.4	73.9
13	136	394	102	4,260	22,868,451	159.2	75.0
14	175	617	125	5,969	32,325,761	141.4	71.4
15	187	733	144	6,475	37,431,829	115.8	77.0
16	164	754	127	6,445	39,713,937	106.1	77.4
17	135	850	117	6,823	36,879,523	92.9	86.7
18	140	926	124	8,233	42,819,160	116.1	88.6
19	135	962	118	8,004	43,617,395	101.9	87.4
20	153	1,090	142	8,213	46,075,102	105.6	92.8
21	179	1,276	168	9,718	55,315,369	120.1	93.9
22	197	1,546	170	10,631	57,001,358	103.0	86.3
23	219	1,763	191	11,269	59,792,479	104.9	87.2
24	207	1,665	180	11,287	59,329,106	99.2	87.0
25	201	1,660	160	11,470	56,373,581	95.0	79.6
26	193	1,712	150	11,004	56,978,415	101.1	77.7
27	199	1,384	148	9,397	48,997,623	86.0	74.3

		6	2	982	6,402,759	-	-
		1,390	150	10,379	55,400,382	97.2	75.4
28	203	1,429	152	10,296	52,587,076	107.3	74.8
		7	2	1,792	9,112,076	142.3	-
		1,608	154	12,088	61,699,152	111.4	75.9
29	212	1,196	147	9,316	55,659,468	105.8	69.3
		16	2	1,815	9,643,549	105.8	-
		1,212	149	11,131	65,303,017	105.8	70.3
30	213	1,189	152	9,378	56,301,811	101.2	65.8
		32	4	2,307	14,378,168	149.1	-
		1,221	156	11,685	70,679,979	108.2	73.2

※27年度以降については、上段＝一般就業、中段＝派遣就業、下段＝合計で表示。

■表-2 平成30年度末の年齢別会員登録状況

(単位：人、%)

区 分	男 性	女 性	合 計	構 成 比
60歳未満	0	0	0	0.0
60歳～64歳	11	5	16	7.5
65歳～69歳	42	11	53	24.9
70歳～74歳	57	16	73	34.3
75歳～79歳	28	27	55	25.8
80歳以上	11	5	16	7.5
合 計	149	64	213	100.0

■表-3 月別入会・退会の状況

(単位：人)

区 分	入 会			退 会			在 会 員 数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
前年度末							147	65	212
平成30年4月	4	2	6	2	1	3	149	66	215

平成 30 年 5 月	0	1	1	3	0	3	146	67	213
平成 30 年 6 月	1	0	1	1	0	1	146	67	213
平成 30 年 7 月	1	0	1	0	1	1	147	66	213
平成 30 年 8 月	2	0	2	0	0	0	149	66	215
平成 30 年 9 月	0	1	1	0	0	0	149	67	216
平成 30 年 10 月	0	2	2	0	1	1	149	68	217
平成 30 年 11 月	3	1	4	0	1	1	152	68	220
平成 30 年 12 月	1	0	1	1	0	1	152	68	220
平成 31 年 1 月	0	0	0	0	2	2	152	66	218
平成 31 年 2 月	0	0	0	1	0	1	151	66	217
平成 31 年 3 月	0	0	0	2	2	4	149	64	213
合 計	12	7	19	10	8	18	149	64	213

② 平成 30 年度中の事故等(非就業含む)の発生状況

発生日	区 分	作業内容	事 故 状 況	措 置
H30.4	途 上	清掃等作業	就業先からバイクで帰宅中、交差点で自動車と衝突し救急搬送された。	入 院

③ 平成 30 年度 補助金等精算額調書

(単位：円)

区 分		本年度	前年度	比較
経常収益 A		78,399,019	75,893,833	2,505,186
受託事業収益		56,301,811	55,075,060	1,226,751
受取補助金等		20,080,000	19,282,000	798,000
内 訳	国庫補助金	10,039,000	9,641,000	398,000
	市補助金	10,041,000	9,641,000	400,000
その他収益		2,017,208	1,536,773	480,435
経常費用 B		77,887,361	75,814,059	2,073,302
支払配分金		44,056,836	43,595,391	461,445
支払材料費		4,876,332	4,326,653	549,679

	人件費	19,588,336	17,680,308	1,908,028
	その他の費用	9,365,857	10,211,707	▲ 845,850
	当期経常増減額 A-B	511,658	79,774	431,884

※ 人件費には、事業推進員として雇用する嘱託職員の賃金、法定福利費等を含む。